

<教育実習終了「一番印象に残ったこと」>

5月10日（月）から5月28日（金）までの期間に2名、5月10日（月）から6月4日（金）までの期間に2名、合計4名の大学生（本校卒業生3名）が本校で教育実習を行いました。実習最終日に4名から「一番印象に残ったこと」を伺いました。

- 私は、里中学校の37期の卒業生です。私が在籍していた当時の里中学校と比べて、一番変わったと感じた点は規律です。今の里中学校の生徒は、自分たちで声掛けを行い、主体的に規律を守ることができていると思います。楽しむところは全力で楽しみ、真剣に取り組むところはしっかりしているので、私も生徒の皆さんのエネルギーを活力にして毎日楽しく過ごすことができました。
- 私は、7年前にこの里中学校を卒業しました。私が在籍していた頃の里中学校と比べると、今の里中学校には自分の意見を言うことができる生徒が多いと感じました。授業中の発言も多く、積極的に授業に参加しようとしている姿がとても印象に残りました。
- 一番印象に残ったことは、学年の壁がないことです。委員会や部活動を見学させていただいていると、学年問わずに協力して取り組んでいる姿がよく見られました。「先輩だから」という態度が見られず、一緒に楽しそうに会話をしたり、作業をしたりしている様子が微笑ましかったです。4週間という短い間でしたが、ここには書ききれない程の学びがありました。ありがとうございました。
- 一番印象に残ったことは、生徒の挨拶です。私は、初めての環境で不安なことや心細いときがありましたが、生徒が廊下や教室、学校のあらゆる所で、すれ違う度に挨拶をしてくれたので、爽やかな気持ちになり、私の頑張ることができるエネルギーになりました。素敵な挨拶ができる里中生の魅力を知ることができて良かったです。

